

# テーマ：高齢者の居場所づくり

利用者の目線で

一言で表せば

① ゆるいカルチャー教室

初心者から上級者まで一緒に楽しめる

コミュニケーション手段として



② 自発性と人に認められる喜び

利用者の主体性が最大限尊重される

やりたい事を持ち寄る。

役割を自覚しつつ、互いの働きも認め合う互助

何かしてもらおう老人会から、やりたいことを学ぶ寿大学に

③ 気分良く過ごすには

ゆるやかな小グループが幾つも集まり、所属の重複も、移動も自由で寛容

固定的ではない、柔軟な人間関係

見えてきた未来は

## 新しい互助

気持ち良い互助  
喜びを分かち合う場所

④ 人の滞留を防ぐ

・初老学級  
・中老学級  
・大老学級  
進級の仕掛け

⑤ 組織の役員の世代交代をスムーズに

開設のハードルを

⑤ 下げる

規制や補助金で縛り過ぎない

事業者どうしも横につながる

事業者の力や資源に合わせ、運営ノウハウや事務局の支援組織を結成

⑦ 地域の皆さんとつながる

子供から大人まで、いろいろな年齢の人と接する

子供が高齢者との接し方を、初老学級の方々から学ぶ

運営側の目線で

⑥ 受益者負担が基礎

受益者負担に加え各種支援も

資金的にも回して行ける仕組み

有償ボランティアで多くの協力者を

⑧ 人材育成

スタッフの自発性や自立性を伸ばす

スタッフの提案を試す柔軟性

↓  
自発性が刺激される喜び

次のリーダーが育ち、ノレン分けも